

III 総合計画に基づく施策体系

「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して、施策を総合的に展開することとしており、8ページ以降が、総合計画に基づく体系に沿って施策を整理したものである。

	(ページ)
1 活力にあふれ成長力に富んだ経済と魅力ある雇用の創出	(1) 発展力のある中小企業をつくる 8 (2) アジアの産業拠点をつくる 9 (3) 国内外の観光客を呼び込む 11 (4) 足腰の強い農林水産業をつくる 12 (5) 雇用対策を充実し、いきいきと働く環境をつくる 17 (6) 魅力にあふれた暮らしやすい地域をつくる 18 (7) アジアとともに繁栄し、九州・山口の一体的発展を支えるための社会資本を整備する 19
2 安心して子育てができるること	(1) 安心して子どもを生み育てることができる社会をつくる 21 (2) きめ細かな対応が必要な子どもを支える 22
3 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること	(1) 「学力、体力、豊かな心」を育成する 24 (2) 「社会にはばたく力」を育成する 27 (3) 「郷土と日本、そして世界を知る力」を育成する 28
4 女性がいきいきと働き活躍できること	(1) 女性が活躍する社会をつくる 29 (2) 社会的・経済的に厳しい状況を強いられている女性を支える 29
5 高齢者や障がいのある人が安心してはつらつと生活できること	(1) 高齢者が元気で活躍する社会をつくる 31 (2) 高齢者が安心して生活する社会をつくる 31 (3) 障がいのある人が自立して生活できる社会をつくる 32
6 誰もが元気で健康に暮らすこと	(1) 生涯を通して健康で過ごせる社会をつくる 36 (2) 誰もが必要な医療を受けられる社会をつくる 37 (3) 社会的に厳しい状況にある生活困窮者等を支える 38
7 心のぬくもりと絆を感じできる社会であること	(1) N P O ・ボランティアの活躍や地域コミュニティの活性化を通じて、ともに支え合う社会をつくる 39 (2) 人権が尊重される心豊かな社会をつくる 39 (3) 生涯学習社会をつくる 39
8 豊かな文化・スポーツを楽しみ、幅広い分野の国際交流を実感できること	(1) 県民の文化活動を盛んにする 41 (2) 県民のスポーツ活動を盛んにする 41 (3) アジアに開かれた交流拠点をつくる 42
9 災害や犯罪、事故がなく、安全で安心して暮らすこと	(1) 災害に強いまちをつくる 45 (2) 犯罪や事故のない社会をつくる 47 (3) むらしの安全・食品の安全を守る 49
10 環境と調和し、快適に暮らすこと	(1) 資源を有効利用し、環境負荷の少ない社会をつくる 51 (2) 環境に優しく安価で安定的なエネルギー需給構造を実現する 52 (3) 自然と共生し、快適な環境をつくる 53
計画推進の基盤づくり	(1) 地方分権の推進 56 (2) 行財政改革の推進 56